

開催日時：平成 1 8 年 8 月 1 7 日（木） 1 7 : 0 0 ~ 1 9 : 0 5

開催場所：総合システムサービス 5 階会議室

参加者：中川, 増田, 馬場, 土井, 福本, 徳増, 古川, 事務局長：和田

配布資料：特になし

回覧資料：特になし

議事

1. 試作産業創出関連

試作グループ連絡会議(7月14日開催)及び京都試作センター(7月27日)で取得した情報の報告・再確認(既に議事録,メールで報告済)

)地域情報化委員会での議論及び方向性(7月14日)

a)ソフトに関してはあまり受注が見込めないのではないか?

b)動き出してでないと予測が付かない。付かず離れずのスタンスで模様眺めをさしていただく。

c)試作グループの末席参加を要望していく。中川副委員長(古川も参加)を中心に参加していく。

模様眺めとは?具体的な行動に対して(議論・検討)

a) ソフト案件の問い合わせ窓口(SGSの担当者)を京都試作センター側に伝えておく。

b) ソフト関連の問い合わせが発生した時は問い合わせ窓口に京都試作センターより電話を戴く。

窓口担当者は依頼元から依頼内容をヒヤリングし、文章化(メール文レベル)し関連メンバーに配信する。

c) 当日若しくは翌日には会議を開催し,取り扱いを即ち,受注活動に入るか?お断りをするかを決定する。

d) 年内はメールの配信先は地域情報化委員会メンバーに限定して進む。

e) 当初の予測以上に引合や有望な商談があれば京情協メンバー拡大に向けての説明会及び対応の仕組を再考慮する。

2. 賀詞交歓会併催セミナー講師の件

事業推進委員会(8月9日)の議論結果を報告する。

・招徳酒造 木村紫晃氏(JCF土井社長が調整担当)及び

金閣寺の塗り師 柳生健智氏(ユニシス藤関会長)が同程度の評価を受けた。

・賀詞交歓を担当する地域情報化委員会で結論を出し準備活動に入れば良い。

議論・検討し結果として招徳酒造の木村氏に決定する。

講演内容に関する京情協側の要望を古川がメール化して土井社長にメールする。

木村先生には依頼内容を一定程度意識していただき講演内容を考慮していただくものとする。

3. 京情協の有様の検討

小林さんの問題提起課題を再吟味

- ・ 会員資格及び会費に関しては、K C Aからの団体扱い依頼に対して事業推進委員会において検討俎上に乗っている。地域情報化委員会は別の課題を取上げる事に決める。
- ・ 京情協の事業のあり方をまず、地域情報化委員会の事業有様を見直すことに決める。

京情協会員の保有するITに関するノウハウを活かして「地域社会への貢献」、「府民生活の向上に寄与」とすると地域情報化委員会に相応しい活動とは何であろうかを議論する。

- ・ 京都府が府民に対して提供するサービス、特にIT施策及びITサービスが府民にとり適切か、費用対効果に問題が無いかを専門的な立場を生かして良い方向に向くように導く事が本来の意図に合致していると結論づける。
- ・ 上記の事を可能にするには京都府の現状や仕組みを余りにも我々自身が理解していない。一昨年に実施した京都府のIT施策を聞いてもなかなか批判的にヒヤリングするのは難しい。
- ・ 京都府のIT関連予算は80億(産業21の増田理事)程度あるそうであるが京情協が比較的追っかけているIT政策監付きセクションや産業活力支援室の延長は本命筋から外れているのではないか?(反省の弁)
- ・ 京都府事情や裏話に精通している方からのレクチャーや電子府庁推進室等からのヒヤリングを手がける事を決め、今後活動していくものとする。

4. その他

システムエンジニアリング岡山(SEO)の件

- ・ 京都への視察(11月17日, 18日)で正式に決定される。(10日, 11日と議論していましたが間違っておりました)
- ・ 京都府側としては17日の午後の企画及び夜の懇親会を考慮する必要があるが馬場社長を中心に叩き台を作成していただく事で了解する。

次回

- ・ 10月17日(SEOの関連で9月に開催の可能性も存在する)
- ・ 場所: 次回も(株)総合システムサービスとするので要注意

- 時間：17時～19時

以上